

## 本宮市における学校支援地域本部事業の取り組み

### 1. 本宮市学校支援地域本部事業の現状

#### (1)目的

地域の人々の人的教育力を生かして、教育活動を支援することで、地域住民の学習成果活用機会拡充及び地域教育力・地域コミュニティの再生を図り、地域が学校を支援する組織体制の構築に資する。

#### (2)対象学校

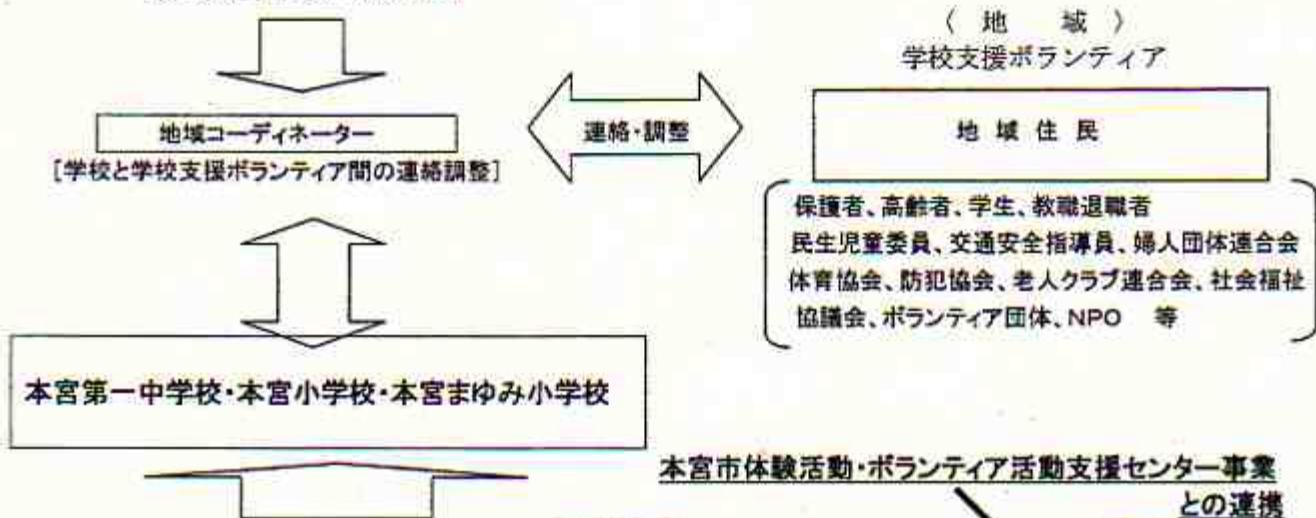
本宮第一中学校、本宮小学校、本宮まゆみ小学校

#### (3)本宮市学校支援地域本部の概要

本宮市地域教育協議会

委員長：本宮第一中学校長 副会長：本宮まゆみ小学校長
本宮小学校長、本宮第一中学校PTA代表、本宮まゆみ小学校PTA代表、本宮小学校PTA代表、交通教育専門員代表、老人クラブ連合会長、婦人団体連合会長、社会福祉協議会地域福祉活動コーディネーター、体育協会長、本宮方部民生委員協議会長、ボランティア連絡協議会長、まゆみっ子会代表、体験活動・ボランティア活動支援センターコーディネーター、もとみや図書ボランティア代表、市教委教育部長、市教委指導主事、生涯学習センター長
19名

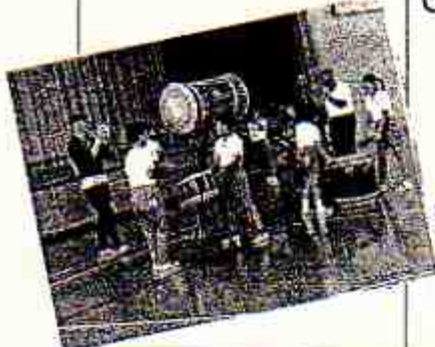
【支援方針についての企画】



#### 【支援内容】

安全活動	環境整備	学校行事	学習支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登下校の見守り</li> <li>○ 新入学児童コース別集団下校補助</li> <li>○ 危険箇所点検</li> <li>○ PTA懇談時等の託児</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 花壇整備補助</li> <li>○ 除草・庭木剪定協力</li> <li>○ 学校菜園指導</li> <li>○ 施設修繕協力</li> <li>○ 本の修繕</li> <li>○ ホームページ作成更新補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受付補助</li> <li>○ 駐車場整理</li> <li>○ 交通教室指導</li> <li>○ スポーツテスト測定補助</li> <li>○ 遠足引率補助</li> <li>○ マラソン大会安全確保</li> <li>○ 面接指導</li> </ul>	<p>【ゲストティーチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の歴史指導</li> <li>○ 戦争体験等のお話</li> <li>○ 伝統芸能の指導</li> <li>○ 和楽器指導</li> <li>○ 英会話指導</li> <li>○ パソコン指導</li> <li>○ ミシン・裁縫指導補助</li> <li>○ 町探検引率・説明</li> <li>○ 福祉・介護学習補助</li> <li>○ 手話・点字指導</li> <li>○ 水泳指導補助</li> </ul>
		<p>【学習アシスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別な支援を要する子どもの指導補助</li> <li>○ 放課後の補充学習補助</li> </ul>	

SSW事業との連携





(4) 体験活動・ボランティア活動支援センターとの連携

①目的

地域における青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育むため、学校内外を通じた奉仕活動・体験活動の機会の充実を図るため、体験活動・ボランティア活動の情報提供やコーディネートを行う本宮市体験活動・ボランティア活動支援センターを設置し、体験活動・ボランティア活動の推進体制を整備する。

②対象

社会教育及び学校教育（本宮市内小中学校10校）

③コーディネーター及びサブコーディネーターの配置

本宮地区：コーディネーター2名、サブコーディネーター1名

白沢地区：コーディネーター1名、サブコーディネーター1名

計5名

④実施状況（年間約40件の依頼、約200人の協力者）

室町文化体験（水墨画、日本舞踊、華道、茶道、かな文字）

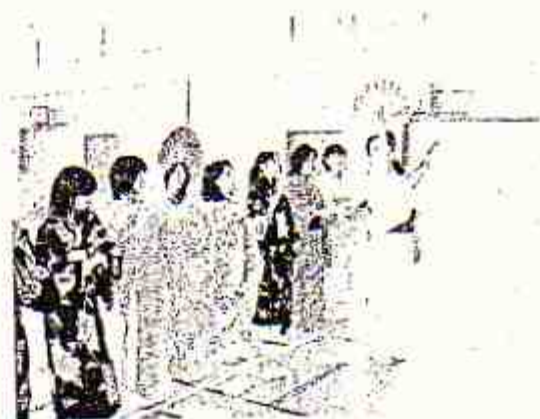
日本の音楽に親しもう

川遊び体験

昔の暮らし

パソコン体験

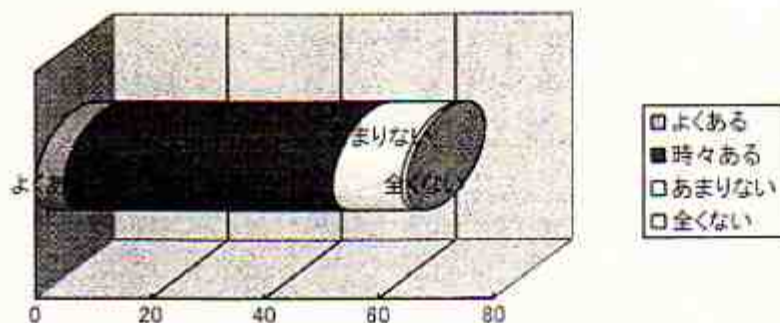
障がい者疑似体験、点字・手話体験等



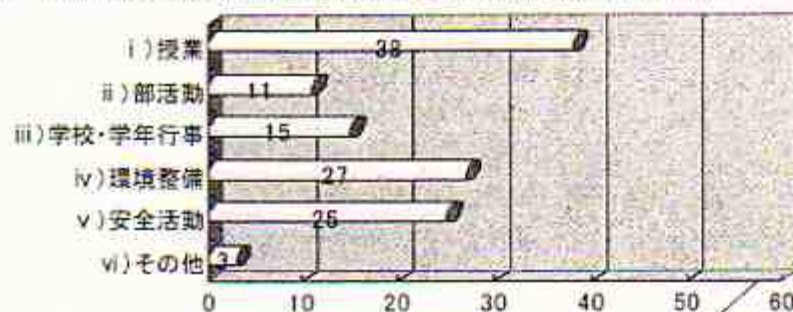


(4)学校のニーズ調査から(本宮第一中学校、本宮小学校、本宮まゆみ小学校の職員 66名)

① 学校教育活動における地域の支援の必要性を感じることもあるか



② 地域のどのような支援を必要と感じるか(複数回答可)



③ 学校支援の必要を感じる具体的な内容

- 1) 授業
- ・生活科: まちたんけん、昔遊び、野菜作り
  - ・国語科: フックトーク
  - ・社会科: 農家の人の仕事、戦争体験
  - ・理科: 実験補助、自然観察、地層
  - ・音楽科: 楽器、合唱指導
  - ・家庭科: ミシン補助
  - ・総合: 英語指導、地域教育
  - ・体育科: 水泳指導
  - ・道徳・学活: 体験指導
  - ・職場体験、福祉体験
  - ・菊作り、陶芸

ii) 部活動

- ・鼓笛の金管楽器指導、クラブ活動(伝統文化)、専門的な指導、審判

iii) 学校・学年行事

- ・学習発表会、米作り、交通安全教室

iv) 環境整備

- ・除草、畑指導、花壇作り、校庭整備、図書室整備

v) 安全活動

- ・下校時の安全指導、夏季休業中のプール監視

vi) その他

- ・託児、特別支援、図書の読み聞かせ、補充授業、面接練習、小論文添削

④ 学校支援地域本部事業に対して期待すること(複数回答可)

- ・学習面で、個々の児童・生徒にきめ細やかな指導ができること 23名
- ・専門性を補うことで、より高度な指導ができること 38名
- ・人員不足の緩和により、授業や行事の活動がスムーズにできること 37名
- ・環境整備(除草、修繕、図書整理等)の支援で、快適性や安全性が向上すること 46名

⑤ 地域が学校の教育活動を支援することについて、課題と考えること(複数回答可)

- ・支援実施に向けた打ち合わせや準備等で時間が割かれること 45名
- ・支援する方のボランティアの質について 18名
- ・授業に即した支援内容について 42名
- ・支援を通じて得た児童・生徒の守秘義務について 21名
- ・その他(継続性をどこまで期待していいのか・学校とニーズとのマッチ)

⑥ その他の意見

- ・活用によってはとても有効な事業である
- ・ボランティアと学校の求めるものの温度差
- ・学校現場への負担にならないように







## 2. 取り組みの課題と今後の方向性

### ○「学校の現状（課題）把握」

学校が支援を必要としているものに対し、可能な範囲で支援していきたい。そのためにも、教職員、児童・生徒及び保護者の声を常に聞き取り学校側のニーズの的確な把握に努める。

### ○「体験活動・ボランティア活動支援センター事業との連携」

本宮市体験活動・ボランティア活動支援センターでは、市内小・中学校の学校行事、学年行事、各授業、総合的学習の時間等で学校の要望におけるそれぞれの活動にあわせた講師や指導者のコーディネート活動が充実している。

学習支援においてはこの体験活動・ボランティア活動支援センターが実績をもっているので十分な連携を図っていく。

また、特別な支援を要する子どもの指導補助については、学校からのニーズが強いが、本宮市で取り組むSSW事業との連携を図り慎重に対応していく必要がある。

### ○「学校側の体制整備」

地域ボランティアの活動を正確に教職員に周知するだけでなく、教職員は今後どのようにして地域ボランティアを受け入れるか学校としての方向性を明確にし、校内で意思統一を図るよう働きかけたい。学校はどんどん地域や保護者に支援を求めて、きちんと感謝することがこの取り組みを充実させるにつながると考える。

また、この取り組みの目的、方法等を保護者へ明確に伝え、活動の周知を徹底したい。今後この活動を保護者が支えていくためにも全保護者の理解と積極的な協力が必要不可欠である。

### ○「支援事業の周知」「人材発掘・登録」

市の広報誌への記事掲載やFMでの放送、独自の広報誌などの定期的な発行と学校だよりなどでの取り組みの紹介による支援事業の浸透に努めることで、事業理解と幅広いボランティアの協力を図る。

### ○「ボランティアの養成」

教育活動に参加するボランティアが児童生徒に与える影響は大きいと考える。ボランティアとして参加していただく方々に学校支援の際の注意事項（自分の思いより授業のねらい、守秘義務等）や支援のあり方などについて研修の機会を設定する必要がある。

